

事例の情報	氏名：Zさん 69歳 男性
人生経過	<p>関西出身。大学院を卒業後、電気工学系のエンジニアとして仕事をしてきた。出かけるのは、好きで妻ともよく出かけていた。</p> <p>母親が、怒ると見境つかないくらい厳しい人であり、怒っていることが常という位な状況で暮らしてきた。</p> <p>母親から怒られている日々を送って育っていくうちに、自分なりの防衛策として、聴いているようで聴き流すことを覚えたり、自分のことを出さないようになった。</p>
疾患名	アルツハイマー型認知症(2020年3月)、心筋梗塞(2017年)
服薬状況	<p>ドネペジル5mg・フォリアミン(貧血薬)・イグザレルト(抗血栓薬)</p> <p>テルミサルタン(降圧剤)・ロスバスタチン(抗コレステロール薬)・ランソプラゾール(プロトンポンプ阻害薬・胃酸分泌抑制)・ニコランジル(血管拡張、狭心症薬)・カロベジロール(血管拡張、狭心症、高血圧薬)</p>
症状	<p>前頭葉症状が著明</p> <p>「記憶力、意欲、抑制機能、社会行動、注意機能」が低下</p>
生活状況	<p>妻と二人暮らし。しばらくA県で暮らしていたが、昨年の秋に次女家族の住むB県に転居し、近くの集合住宅にて新たな生活を開始する。長女もB県に転居。現在は、週2回デイサービス利用。それ以外の日は妻と出かけたり、家事の手伝いをしている。</p> <p>二人暮らしであるが故に、妻も介護負担などから本人に対してきつくあたってしまうことが多い。</p> <p>長女は、協力的であり、毎回の通院にも同行され、生活での取り組み方や関わり方のサポート、外部サービスの手配など必要な支援をしてくれている。</p> <p>日常生活動作以外において生活の中で、主体的にしている役割や活動がほとんどない。行動範囲、関わる人が限られている。</p> <p>楽しみや喜びなど、心がポジティブに働く場面が少ない。何か満たされていない気持ち。</p>
家族の困りごと	<p>妻：症状によって自分自身(妻や娘)がイライラしてきつく当たってしまう。</p> <p>娘：母が怒り、父もしんどく、寂しそうにしていることが多い。</p>
家族の希望	<p>妻：もっとゆとりを持って接せれるようにしたいし、穏やかに暮らしたい。</p> <p>長女：両親共に元気で、仲良く暮らして欲しい。</p>
身体状態	<p>・筋の柔軟性低下 ・抹消部の冷え・重だるさ・下肢挙上不十分な歩き方</p> <p>・肝臓、腎臓、腸のエリアの硬さ</p> <p>身体もガッチリしており、著名な動作制限はない。血圧も異常なし。</p> <p>しかし、活力というかエネルギーがない。</p> <p>そのために、意欲的な思考に至りにくく、脳機能も十分に発揮できていないような印象。</p>

<p>検査結果 (MMSEなど)</p>	<p>【MMSE：21／30点】 間違えた箇所 時間の見当識(2/5)・場所の見当識(4/5)・計算(2/5)・遅延再生(1/3)</p> <p>検査を通しての特記事項 「あかん」「わからない」と言葉に出して諦める傾向。 必要以上に筆圧の強さがある。</p>
<p>食事や水分摂取の状況</p>	<p>朝食、昼食（デイ利用日以外）、夕食共、妻が作ったものを食べる。 以前はパン食も多かったが、現在は減っている。</p> <p>水分摂取量は、当初お水自体の摂取は少なかったが、現在は平均1,500mlは飲めている。</p>
<p>アプローチ内容</p>	<p>〈脳に対して〉 注意機能(持続、選択、転換、分配)と抑制課題、関節運動、運動療法を実施</p> <p>〈内臓に対して〉 肝臓、腎臓、腸の柔軟性を高めるため各アプローチ</p> <p>〈筋に対して〉 下肢循環状態を改善するための筋膜整体を中心に行う</p> <p>〈心に対して〉 体験づくり、体験を積む</p>
<p>家族に対するアプローチ内容</p>	<p>振り返る時間を作る： 毎回来院時に、前回から本日まで間の出来事やその時の反応、卓上療法やご自宅での各プログラムの成果などを振り返る</p>
<p>症状改善による生活の変化</p>	<p>妻： 我慢できたり、もの忘れが減ってきたので、あまりイライラすることなく、接することができる</p> <p>娘：親が穏やかになっている。</p>
<p>現在の課題</p>	<p>就職に向けて、本人が体験したことない仕事を中心に探していく。 前頭葉症状もハプニングがあれば、ぶり返すことがあるので、ハプニングがあっても前頭葉症状が現れないようにする。</p>